

図書館だより

No.92 July, 2018



目次

読書のすすめ

読書嫌いによる読書のすすめ	電気電子工学科 平川 靖之	1
図書館と〇〇と私	制御情報工学科 田中 諒	2
教員推薦図書	教員 5名	3
私の一冊	各学科学生 6名	4
テクノネット久留米文庫	産学民連携テクノセンター長	5
平成29年度図書館利用状況		6
Information 編集後記		7

読書のすすめ



電気電子工学科 平川 靖之

読書嫌いによる読書のすすめ

私は中学時代まで読書が嫌いだった。物心ついたときに身近に幼児用の絵本があった記憶がないし、絵本を読んでもらった記憶もない。唯一の例外は、父が突然買ってきてくれた月面旅行に関するサイエンティフィックな絵本だ。月面着陸に使ったアポロロケットや月面車、未来に造られる月面都市などがリアルに描かれていたのを未だによく覚えている。多分、4, 5 歳の時だったのではないかと思う。その後、記憶に残っているのは、幼稚園で見た「エルマーと16ぴきのりゅう」である。読んだのではなく、「見た」だ。内容はおぼろげにしか覚えていないが、中に書かれている絵がきれいだったことと、本の装丁が大変美しく、「もの」として手に入れたいくなって、少々高価だったが親にねだって買ったもらった。しかし、読破に至ることはついになかった。小学生になってもいつも眺めるだけで、読もうとするがすぐに挫折し、ほぼ新品状態のまま、レゴとトミカとともにどこに行ったか分からなくなった。

このような幼少時代を過ごしたためか、読書には皆目興味がなく、小学校時代は夏休みの宿題で伝記を図書館で渋々借りてきて読み、読書感想文を書いていたくらいだった。読書をしないということは、もちろん文章を書くのもイヤで、小学校2年生の時に、文章を母に書いてもらった夏休みの宿題の絵日記で賞を貰ってしまったことに、子供心に気まずさを感じていた。まさか、文章を書くのが仕事のような現在の教職・研究職の仕事に就くなど夢想だにしていなかった。

野球に明け暮れた小学校時代も学年が上がるにつれ、徐々に周囲の秀才君たちや悪友たちの影響を受け始め、秋田書店の「真珠湾攻撃」などの子供向け戦記物をまねして読み始めたり、学研ジュニアチャンピオンコースの「世界ショッピング事件」などを徐々に自分で買うようになっていったが、学校で推奨図書として上がるような本を読むことはまずなく、親類からお下がりとして回ってくる世界の名著のようなものも本棚の飾りになるだけだった。

この状況は中学校に入ってから同じ、いやむしろ反抗期に入り悪化した。国語は特に嫌いな科目になった。その

文章をどのような意味で受け取ろうか、俺の勝手だろう、というのがその頃の主張である。お陰で国語の外部テストの点数は、大学入試を含めて全科目中、最低のままだった。

そんな状況に変化をもたらしたのは中学2年の頃、自宅で見つけた父の古い本だった。山岡荘八の「織田信長」である。単行本で上中下の3巻ものである。中学当時、歴史が特別に好きというわけでもなく、地理よりは分かりやすく馴染みやすい、という印象を持っている程度であった。大人向けの小さな活字・上下二段組み・3巻ものなど、手にしたこともなかったが、最初の数ページの試し読みで「何か面白そうだな」と感じ、父の許可をもらって読み始めた。織田信長という破天荒な人物が主人公だったのも興味を引いた要因だったのかもしれない。どのくらいの期間をかけて読破したのかは記憶に残っていないが、何と一度読み終わってから、もう一度読み直したほど気に入ってしまった（この本は父の形見の一つとしてまだ持っている）。この後、歴史物を好んで読むようになっていく。

「織田信長」により、長文に対する免疫がついた状態で高校に入学したが、国語は相変わらず嫌いだった。しかし、現代文で出てくる作家（夏目漱石、魯迅、井伏鱒二など）に興味を引かれるようになり、その文庫本を（遅まきながら）自分で買って読むようになっていった。梶井基次郎の「檸檬」などは理解不能な内容であったが、大学時代にはその内容について友人同士で、「どうして檸檬でないといけないんだよ！」などと笑いながら議論したことも覚えている。私の書いていることが分からなければ、「檸檬」を読んでもほしい。多分、「こんなものを薦めるな」と思うだろう。

今は、ノンフィクション、歴史物、政治関連の新書（たまに小説）を出張の際の待ち時間に本屋で買って読むことが多い。文章を書くのも全く苦にならなくなったし、誰が読んでも自分の込めた意味に取れる文章になるように心がけている。「どう受け取ろうか俺の勝手だろ」と思われないように。

と偉そうに書いているが、相も変わらず、論文は読むのも書くのも嫌いなままである。困ったものだ。

読書のすすめ



制御情報工学科 田中 諒

図書館と〇〇と私

まず始めに、高専生のみなさんは、タイトル「図書館と〇〇と私」を見たとき、この「〇〇」には真っ先にどんな言葉が思い浮かびますか。1分位考えてみてください・・・いかがでしたか。私がまず思い浮かんだのは、「知恵」という言葉です。似た言葉に「知識」があるかと思いますが、それぞれ広辞苑（第五版）で引いてみると、

- ・知識：ある事項について知っていること
- ・知恵：物事の理を悟り、適切に処理する能力

と書かれています。つまり、私にとって図書館は「情報の宝庫」であり、読書によって「知識」を習得するだけで終わらせるのではなく、「知恵」を養うことで、今後の人生に大いに活かしたいという思いがあります。この「知恵」が発達すると、主に

- ① 感受性がより豊かになるのでは
- ② 応用範囲が広がるのでは
- ③ 人に紹介してみたくなるのでは

と考えています。私は、大変貴重な本校の一施設の図書館を常日頃利用させていただいています。普段から図書館を利用している高専生のみなさんは、きっと①～③のうちいくつか似たようなものを、抱いているのではないのでしょうか？

また、私はしばらく久留米を離れていたため、最近およそ十数年ぶりに久留米市立図書館に寄り、利用カードを発行していただきました。今後時間が許すかぎり、本校図書館だけでなく、久留米市立図書館も利用したいと思っています。

ちなみに、私が図書館を利用する目的は、

- A. 授業の予習と復習をしたいとき（嘘ではない！）
- B. 自分の考えだけでは新たなアイデアが思いつかないとき
- C. 未修得分野を新たに勉強したいとき
- D. 不足している知識を補いたいとき

です。特にAでは、私が高校生のとき、休日の殆どは久留米市立図書館4階の学習室を利用し、朝10時から夕方18時まで友人と勉強していました。このように、お互いに切磋琢磨しあうことで多くの「知識」を習得し、

「知恵」につなげてきた経験は、今の私の人生に大いに活きていると確信しています。一方、B～Dについては、私は正直なところ、最近では殆ど関連する研究分野に関する専門書、あるいは担当科目の教材作成のために読んでいるのが現状です。高専生にとっても、これらA～Dは例外ではないことと思います。なぜなら高専生活において、高学年に上がるにつれて専門科目が多くなるうえ、5年次には全科とも「卒業研究」の必修科目を履修しなければならないためです。したがって、高学年に上がるにつれて、分野ごとに学術的な情報を調べる場面が多くなることと思います。

さて、近年では校内外を問わず、インターネット環境が整っていれば、「検索エンジン」を利用することで、ウェブ上でも容易に情報を知ることができるようになりました。しかし、ウェブ上にはその情報の信ぴょう性に疑問のあるサイトが多いうえ、検索結果が多いと適切な情報を探すのが難しいため、個々の情報処理能力や判断力が問われます。これらの問題解決のために、図書館を利用して情報を知ることの意義があると私は考えています。図書館には学術的な専門書や百科事典など、多くの出版された書物が取り揃えられており、これら書物には多くの文献が参照されているため、信ぴょう性の高い情報を知ることができます。一方、図書館の使い方や資料の探し方を知る必要があるため、図書館を利用したことのない高専生にとっては、多少ハードルが高いと感じるかもしれません。それでも、本校図書館の蔵書検索のサイトを利用することで、手持ちのスマートフォンなどの携帯端末を用いて、校外からでも借りたい書物を容易に検索することができます。私もこの検索機能を普段利用させていただいており、多くの時間を割かず読みたい書物が借りられるので、大変便利な機能の一つだと感じています。

最後に、これまで本校図書館で書物を借りたことのない高専生のみなさん、特に今年度より本校へ入学された新入生のみなさん、「知恵」を養いにぜひ本校図書館を活用してみたいはいかがでしょうか。



私の一冊



桜井 基晴 著
編入数学過去問特訓
入試問題による徹底演習

(聖文新社)



一人で勉強をするとき、欠かせないのが教科書や問題集である。効率よく勉強を進めるには自分にあった本を見つけることが必要である。この本は問題集形式になっているのだが、1つ、他の問題集より優れている点があった。それは解説の丁寧さである。数学を勉強するにあたって、分からない問題の解説を見ながら順を追って解いていくということはしばしばあるが、解説を見ても「前の式からこの式になった経緯が分からない」といった状況に陥ると、かなりの時間を割いてしまうことになる。解説が丁寧に載っているとそのような時間も減り、効率よく勉強できる。特に例題には重要なポイントも記載しており、勉強しやすい。

(機械工学科5年 川戸 大誠)

図書館所蔵情報：410||Z-S||12~20, 26~28, 31~33

枯野 瑛 著
終末なにしていますか？忙しいですか？
救ってもらっていいですか？

(株式会社 KADOKAWA)

この小説は、滅びかけの世界に数百年の眠りから覚めた人間の青年が死にゆく定め少女兵に生きたいという思いと生き残るための技術を教える日々を描いた作品です。この作品はボーイ・ミーツ・ガールを派生させたような構成をしているのですが、主人公とヒロイン以外の登場人物たちが主人公たちの引き立て役のようにいるのではなく、一人一人にその人物を作り出す物語があり、絶妙な匙加減でその物語たちが顔を出しこの一つの世界を作りあげているところがこの作品の魅力です。小説という表現方法で多面的に描かれた世界を楽しみたいという人におすすめです。

(電気電子工学科3年 西嶋 雅也)

白鳥士郎 著
りゅうおうのおしごと！

(SBクリエイティブ株式会社)

私はこの本を読んで真っ先に感じたことは「動きが少ない将棋という競技をこうも熱く、力強く、感動させる文章で描くことができるのか」である。

ストーリー各所にある現実の棋界で起こった出来事。佐藤名人や羽生竜王を彷彿とさせる個性的な魅力あふれるキャラクター。そして緻密に描かれる棋士たちの苦悩。気が付けば物語の中へ没入し、時間を忘れ去ってしまっていた。

所詮はライトノベル、文学的価値は低い。そういう人も一定数いるだろう。しかしそういう人達にこそこの本を読んで欲しい。その考えを改めるいい機会となるかもしれない。

(制御情報工学科4年 大山 隆太郎)

ジャン＝バティスト・ド・パナフィュー 著
グザヴィエ・バラル 編
小島郁生 監訳 吉田春美 訳

骨から見る生物の進化

(河出書房新社)

進化生物学の本です。古今の動物の骨格写真と共に、分類、器官などについての解説がなされています。専門用語も少なく事前知識もあまり必要でないの読みやすいです。学術書というより読み物、写真集といった趣でしょうか。この文章を書いている今はまだ図書館には置いてないですが、図書リクエストに名前が挙がっていたのでそのうち置かれるようになるかもしれません。動物が好きな人、生物学に興味がある人、骨格の資料が必要な人なんかは手にとってみてはいかがでしょうか。

(生物応用化学科3年 瀧口 賢吾)

宗田 理 著
僕らの七日間戦争

(株式会社角川書店)

この本とは小学生のときに会いました。中学生が自由を求めて大人と戦う話なのですが、その奇想天外な作戦と個性的な“僕らの”仲間に、私はあつという間に引き込まれてしまいました。時には誘拐事件を解決し、また時には老人の知恵を借り、緻密な作戦と“僕らの”チームワークで悪い大人達をやっつける彼らを見て、私は仲間に入りたいとまで思いました。19になった今、再び手にとって読み返してみると、新たに気づくことがあります。同じ文章を読んで違う思いを抱くのは、とても不思議です。約8年の間に私は何を経験してきたのか。皆さんも昔読んだ本を読み返してみると面白いかもしれません。

(材料工学科4年 福田 直也)

今村昌弘 著
屍人荘の殺人

(東京創元社)



この本は大学の映画研究部が合宿のために宿泊していたペンションにとある理由で隔離されてしまい、次々と部員(やOB)が殺害されるというミステリー小説である。上記の文章だけを読むと、ミステリー小説ではおなじみのクローズドサークル(外界との往来が断たれた状況で起こる事件を扱う作品)である。しかし、隔離された理由が

特殊で、ホラーやファンタジーの分野でよくお目にかかる〇〇が登場する(〇〇〇の部分は読んでからのお楽しみ)。また、登場人物は個性的な人物が多く、結末もただ犯人が分かるだけではないので、小説を読むことが苦手な方でも飽きずに楽しむことができると思う。

(物質工学科 1年 横尾 雄士)

図書館所蔵情報：913||I||127

教員推薦図書

笹山尚人 著

労働法はぼくらの味方！ (岩波書店)

機械工学科 細野 高史 准教授



今、アルバイトをしている皆さんは自分が「労働者」だと言われたら違和感を覚えると思います。しかし労働法では正社員もアルバイト(非正規雇用)も区別せず労働者と見なしています。たとえばお店の業績が悪いからと一方的に当初の約束より時給を下げる、仕事中に壊された備品を弁償させるために給与から備品代を天引きする、などの行為は学生アルバイトが相手であってもしてはいけないと法令で定められているのです。この本は、労働者が自分の身を守るために必要な労働法の知識をストーリー形式でやさしく解説しています。今のみならず将来にわたって全ての皆さんに必ず役に立ちます。ぜひ一読してみてください。

今、アルバイトをしている皆さんは自分が「労働者」だと言われたら違和感を覚えると思います。しかし労働法では正社員もアルバイト(非正規雇用)も区別せず労働者と見なしています。たとえばお店の業績が悪いからと一方的に当初の約束より時給を下げる、仕事中に壊された備品を弁償させるために給与から備品代を天引きする、などの行為は学生アルバイトが相手であってもしてはいけないと法令で定められているのです。この本は、労働者が自分の身を守るために必要な労働法の知識をストーリー形式でやさしく解説しています。今のみならず将来にわたって全ての皆さんに必ず役に立ちます。ぜひ一読してみてください。

スティーブン・R・コヴィー 著

ジェームス・スキナー 川西 茂 訳

7つの習慣

成功には原則があった！ (キングヘアー出版)

生物応用化学科 梶 隆彦 教授

本書は1996年からビジネス書として世界中で読まれている大変有名な本ですが、ビジネスマンだけでなく学生の皆さんをはじめ様々な立場で幾度となく手に取って読み返すことができる本だと思います。人は生まれてから一步一步自立へ向かいます。依存から自立へ、そしてまた社会の一員として他者と尊重し合い、認め合う相互依存を目指す。本書は人が生まれてから亡くなるまでの、人間の成長にとって必要な心がけのようなものを教えてくれていると思います。この本がその成長過程において現在の自分を見つめ、新たな自分を探るひとつのきっかけになればいいと思います。

石田雄太 著

イチロー・インタヴューズ (株式会社文藝春秋)

材料システム工学科 佐々木 大輔 助教

『イチロー・インタヴューズ』では、2000年から2010年までのイチロー選手の様子が記されています。大学四年生から読み続けている本の一つです。本の中にこんなコメントがあります。『結果を残してきた人ほど不安と戦ってきたはずだし、恐怖心を持っていない人は本物じゃない』未だに研究や教育で挑戦する時には、失敗が怖くなります。ですが、失敗を修正し、挑戦を続けていると、この言葉が出てきたイチロー選手に共感する時があります。そして、自分もプロなんだと言い聞かせます。プロって大変、だけどこんなにかっこいいと教えてくれた本です。

江戸川乱歩 著/しきみ 絵

押絵と旅する男 (立東舎)

一般科目(文科系) 鴨川 都美 准教授



江戸川乱歩が数多く残した作品のなかで、特に美しく幻想的な短編小説といえるのが「押絵と旅する男」です。押絵に描かれた女性に恋い焦がれ、押絵のなかに入ってしまった「兄」の悲哀について語る「男」との出会い、語り手の「私」の記憶を混乱させ、夢と現実の境界を曖昧なものにしていきます。「浅草の十二階」「覗きからくり」「蜃気楼」などが登場する本作で、乱歩は新時代に背を向け、己の懐古趣味を貫く決意を表明しようとしました。また、しきみの儂げなタッチと独特な色彩感覚のイラストとのコラボレーションによって、乱歩の創出した幻想美が、より魅力的なものとして、現代を生きる私たちの前に立ち現れます。

江戸川乱歩が数多く残した作品のなかで、特に美しく幻想的な短編小説といえるのが「押絵と旅する男」です。押絵に描かれた女性に恋い焦がれ、押絵のなかに入ってしまった「兄」の悲哀について語る「男」との出会い、語り手の「私」の記憶を混乱させ、夢と現実の境界を曖昧なものにしていきます。「浅草の十二階」「覗きからくり」「蜃気楼」などが登場する本作で、乱歩は新時代に背を向け、己の懐古趣味を貫く決意を表明しようとしました。また、しきみの儂げなタッチと独特な色彩感覚のイラストとのコラボレーションによって、乱歩の創出した幻想美が、より魅力的なものとして、現代を生きる私たちの前に立ち現れます。

図書館所蔵情報:913 || E || 26

塩野七生 著

ローマ人の物語 (I~XV) (新潮社)

一般科目(理科系) 松田 康雄 教授



15巻にわたるこの本を読み終えた感想は「ローマは一日にしてならず。そして一日にして滅びず。」でした。ローマ人が、広い国土を長い間維持できた理由。それは「敗者でさえも自分たちに同化させる政策」と著者は書いています。カエサル、アウグストゥス、ハンニバル等多くの個性的な人達が活躍する場面が生き生きと

描かれています。3次にわたるカルタゴとの戦役、カンネの会戦、ザマの会戦等多くの戦いが臨場感をもって読めました。しかし後半ローマ帝国が衰亡していきます。それは国家が寛容さを失っていく過程のように思えます。政治のシステム、外交、宗教など現代の日本と世界を考えると、自分の考えの拠り所になる1冊です。

図書館所蔵情報:232 || R || 2(1) ~ (15)

テクノネット久留米文庫

since 2017

～今年も地域企業の方々から図書が寄贈されました～

学生の皆さんは、久留米高専を支援しようと久留米・鳥栖地域の約80の企業・有志の方々により設立された「テクノネット久留米」という組織があるのを知っていますか？ 昨年に引き続き、今年もこの「テクノネット久留米」より学生の皆さんに対して図書寄贈のお話がありました。1年生から3年生までの学生さんを対象に希望を募り、選定した図書を7月上旬から配架し、貸し出しています。

図書館入口ゲートを過ぎ、左手に進んだ突き当りに「テクノネット久留米文庫」と名付けられた専用のコーナーがありますので、学生の皆さん方は大いに活用してください。今年寄贈頂いた32冊と合わせて現在配架されている図書の数は69冊ですが、これからも引き続き皆さんからの希望図書を充実させたいとお話をいただいています。また、「テクノネット久留米」の会員企業を紹介した冊子も併せて配架しています。これを機に久留米高専が保護者後援会や卒業生同窓会のほかにも、地域の企業など多くの方々に支えられていることを知ってもらえれば幸いです。



生物応用化学科 中島 裕之
(産学民連携テクノセンター長)



■ テクノネット久留米文庫 ■

世界で一番美しい元素図鑑
すべての犬は天国へ行く
ザ・万歩計
ザ・万遊記
Fifty shades of grey (上)
Fifty shades of grey (中)
Fifty shades of grey (下)
よくわかる電磁気学
マンガで分かる電磁気学
全訂増補版メダカ学全書
崩れる脳を抱きしめて
響け！ユーフォニアム北宗治高校の吹奏楽部騒乱の第二章 前・後編
ミズクと夜の王

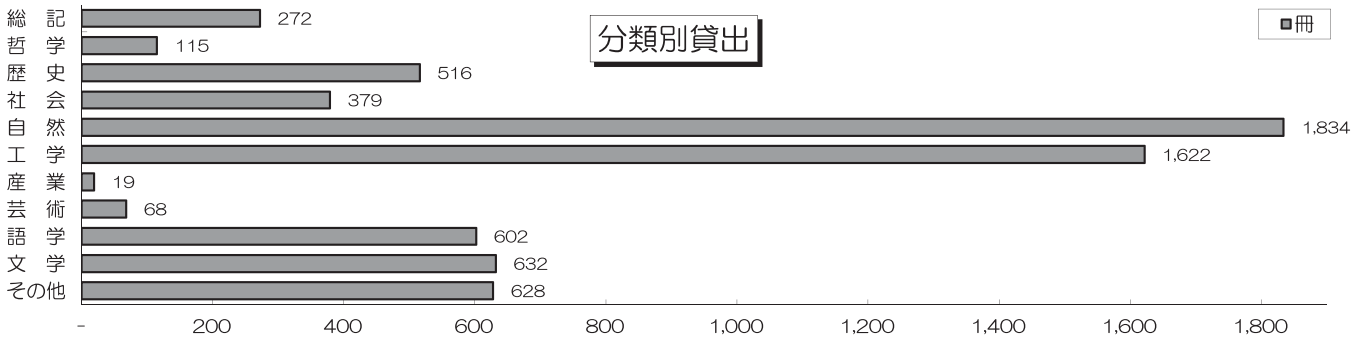
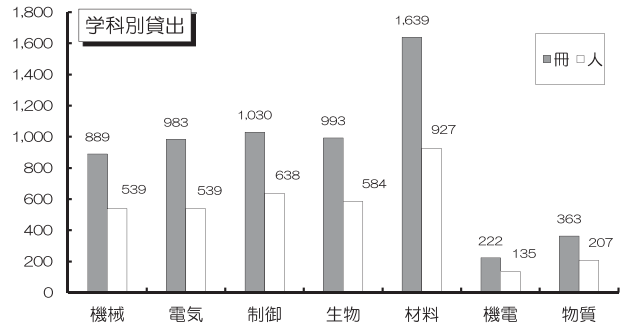
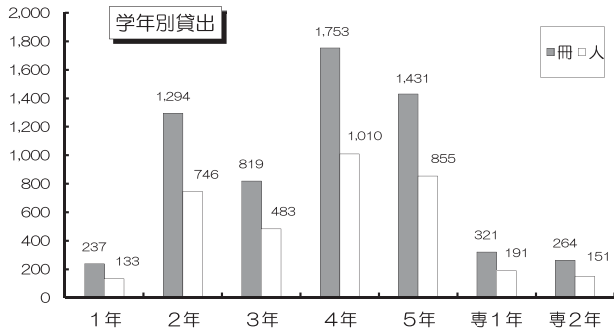
さくら
日本再興戦略
10年後の仕事図鑑
距離のノート
ロボット制御学ハンドブック
自律ロボット概論 プレミアムブックス版
海の見える街
れんげ野原のまんなかで
ビーカー君とそのなかまたち
これから日本で起こること
ガリレオ・ガリレイ:宗教と科学のはざままで
ハンザ「同盟」の歴史:中世ヨーロッパの都市と商業
AviUtil 動画編集 実践ガイドブック

外 5点

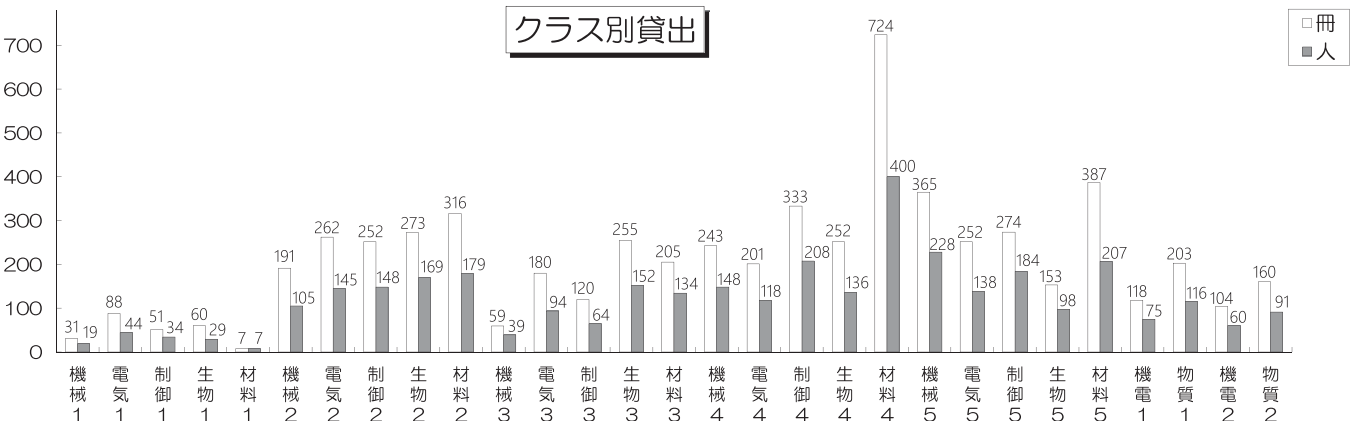
平成29年度 図書館利用状況

◆開館日数及び入館者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数		22	24	24	19	19	23	25	22	22	20	22	22	264	
入館者数	平日	時間内	2,860	2,684	2,753	2,239	1,588	2,513	1,946	2,152	1,666	1,775	2,225	1,053	25,454
		時間外	413	869	638	382	62	807	437	762	628	695	666	25	6,384
	土曜日	74	257	131	14	0	322	107	120	78	60	178	7	1,348	
	合計	3,347	3,810	3,522	2,635	1,650	3,642	2,490	3,034	2,372	2,530	3,069	1,085	33,186	
一般利用者数 (内数)		13	22	42	14	77	17	67	24	13	12	13	12	326	
一日平均入館者数 (四捨五入)		152	159	147	139	87	158	100	138	108	127	140	49	126	



※ 分類別貸出冊数には、教職員及び一般利用者貸出冊数を含む。



Information

夏季休業中の、開館時間の変更及び臨時閉館にはご注意ください。



◆特別(長期)貸出について

特別(長期)貸出を下記のとおり行います。

- ・貸出期間 : 7月27日(金)～9月14日(金)
- ・返却期日 : 10月1日(月)
- ・貸出冊数 : 5冊以内

※一般利用者及び教職員は通常貸出です。

◆開館時間の変更及び休館日について

- ・月曜日～金曜日は、9時～17時まで開館
- ・土、日曜、祝日及び、8月13日(月)～15日(水)は休館です。



◆◆図書館からのお願い◆◆

- ・図書は返却日までに返却してください。
- ・閲覧室での飲食は禁止です。
- ・閲覧室内での携帯電話の使用できません。
- ・閲覧室内での騒がしい行為・会話は禁止です。

《編集後記》

いよいよ夏本番になってきました。今年から Semester 制が導入され、試験の後に夏休みになります。試験勉強は大変ですが、試験が終われば長い休みが待っている、そうポジティブに考えたほうがトクですよ。

長い休みの間に読書を堪能するのはいかがでしょうか？休日に映画を楽しむノリで堪能するのもよし、旅行の合間に時間をつぶすのに読むのもよし。色々な楽しみ方があるものです。

友達とのSNSのほうが楽しい？確かにそう思う人もいでしょう。でも、その時間をちょっとだけ

読書に割り当てると、また違った楽しい時間と、知識を得られます。

図書館では夏休みに長期貸し出しを行っています。発売された当時読めなかった名作、大作などを夏休みにゆっくり読むことがおすすめです。

例えば・・・本校卒業生であり、直木賞作家の安部龍太郎さんの作品などはどうでしょうか？図書館入り口に展示してあるように、数多くの本を見ることができます。ドラマになった「信長燃ゆ」など、時代小説を堪能する夏休みというものもおつなものです。

(編集委員長 笈木 宏和)

発行日：平成30年7月30日

発行・編集：久留米工業高等専門学校図書館 Tel：0942-35-9306
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
E-mail：L-staff.SAD@ON.kurume-nct.ac.jp